

「するめになりたい。」

群馬県 安藤柚奈

私はするめになりたい。

口に入れた時は硬いけど、噛めば噛むほど味が出る、するめになりたい。

先日、中学の頃に好きだった人と長話をした時、会話の中でその人がふと、

「お前は本当にいい女だよなあ」

と言った。その人との恋は実らなかったし、今はお互いに違う恋愛をしていて、そんな言葉は今更、本当に今更遅いのだ。

私はその言葉を今ではなくてあの時聞きたかった。私がその人に恋をしていた、あの時に。

だけどきっとその人はあの時、私の事をそんな風には思っていなかったのだろう。

あの時から少しだけ月日が経って、お互いに変化した部分もあるけど、まだ根本的な所はそのままで。そして今になって気付く、相手のよさ。

あの時も見えていたはずなのに、それがいい物だと気付くのはその時ではなく、今更なのだ。

少し哀しい気もするけど、私はそれを愛しく感じた。

昔はいい人だと思ってたけど、そうでもないよね。よりも、昔は嫌な奴だと思ってたけど、いい人だったんだね。と言われる方が、何倍も嬉しい。

たとえ今この時に嫌われていたとしても、本当に正しい選択をしていたならば、それを認められる時がいつか来る。今、うっとおしくて仕方ない誰かが、遠い、ひょっとしたら近い未来で大切な人になるかもしれない。私も、そんな風に変われたなら、本当に幸せだ。

それはまるで、多くの人が自分の親を見るようなものだ。若い時はうざくて仕方なかったけど、今考えてみると……するめ。

それと同時に、私は近くにいる「するめ」に少しでも早く気付ける人でもありたいと思う。